



ほっこう

甲府市立北新小学校
2018. 1. 26
No. 10
発行：校長室

3学期がはじまりました！

皆様には、希望に満ちた平成30年の春をお迎えのことと存じます。旧年中の本校教育へのご理解・ご協力・ご支援に対しまして、心よりお礼申し上げます。

1月9日（火）から3学期も始まり、元気な子どもたちの姿が学校へ戻ってきました。それぞれの学年にとって3学期は、1年間のまとめと来年度への準備という二つの意味があります。特に6年生は、小学校の6年間のまとめと、中学校生活への準備という大きな節目を迎えます。6年生には残り二か月間、心もしっかり成長させていってほしいと願っています。

さて、今年はいぬ年です。十干十二支（じっかんじゅうにし）で言えば「戌戌」（つちのえ・いぬ）です。さて、戌戌の年はどんな年になるのでしょうか。千支で使われる「戌」（いぬ）は実は「滅」（めつ・ほろぶ）につながる漢字です。そこから草木などが枯れ果てる意味をもつ漢字となりました。年を表す千支に滅びの意味があって不安になりますが、翌年の「亥」に「草木の生命力が、種などの中に閉じ込められている」という意味が、更にその次の「子」になると、この草木から芽が出るということになります。つまり「戌」の年は、次に進むための新しいステップになる年であるといえます。この平成30年は、これまでの問題点を見つめ直して新しい物事の出発点になるような取り組みを始める一年にするとよいと思います。

本年も保護者・地域の皆様方の協力をいただきながら本校職員一同、心を新たにして教育活動を一層推進してまいりたいと決意しております。どうぞ、子どもたちの健やかな成長のため、今後も旧年が変わらぬご理解とご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお祈りいたします。

新年親子の集い

1月8日（月）の成人の日（冬休みの最終日）に北新地区育成会主催の「新年親子の集い」が開催されました。今年は、100人近くの子どもたちが集まりました。参加する子どもたちは年々増えているように思います。今年もたこ揚げをしたり、カルタをしたり、羽根つきをしたり、こまをまわしたり、紙飛行機を飛ばしたり、もちつきをしたりして正月遊びを存分に楽しむことができました。子どもたちは、お年玉ももらって大満足でした。きっと大きくなってこのことをずっと覚えていることと思います。育成会の皆様ありがとうございました。



講演会を実施しました！

1月23日（火）に絵本作家の星川ひろ子先生による講演会を実施しました。星川先生は、物を顔や数字に見立てたユニークな写真絵本や心温まるカメラワークでいのちと向き合う写真絵本を数多くつくっています。1～3年生が4校時に、4～6年生が5校時に先生のお話を聞きました。子どもたちは、しりとり絵本をみんなで考えながら見たり、写真絵本を大きな画面でじっくりと見たりしました。子どもたちは、星川先生のおかげで大変良い時間を過ごすことができました。



スポーツ集会

1月19日（金）に体育委員会が計画したスポーツ集会が開催されました。今年は、「長縄チャレンジ大会」と「ドッジボール」の2つを行いました。どのチームも力を合わせて頑張っていました。今まで縦割り班ごとに、長縄の練習をしてきました。その練習の成果を発揮して、低学年の子どもたちも上手に長縄を跳んでいました。また、ドッジボールではセルフジャッジ（自分たちでもジャッジをする）を取り入れて試合をすることができました。体育委員会の皆さんご苦労様でした。



1月の子どもたちの様子



始業式での発表の様子



雪合戦



雪の校庭



縦割りでの遊び



保護者や老人クラブの方々に手伝っていただいた花の苗が順調に大きくなってきました。学校に来た時には、ぜひ見てください。



※1月23日（火）の朝、通学路に降り積もった雪の除雪をしていただきました。子どもたちは、安全に登校することができました。ありがとうございました。